

# 【Datum ワークステーション】ラスタを定型サイズ(512x512)の画像に分割する SML

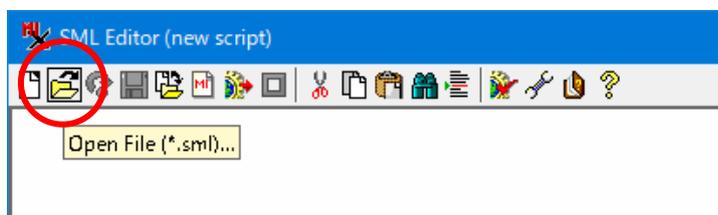
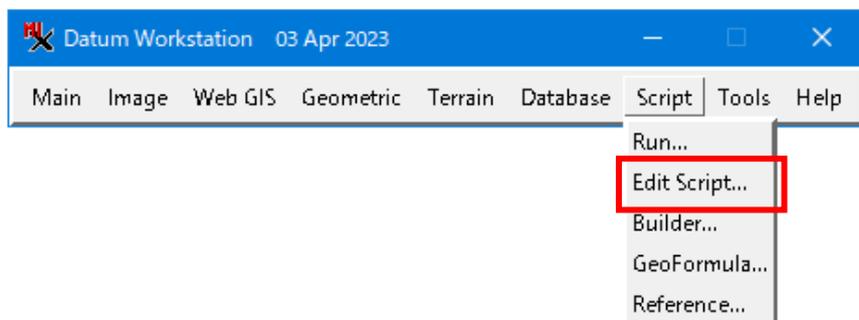
2023.4.19 OpenGIS

SML: **split\_raster\_UTF8\_CreateGCP\_v5.sml**

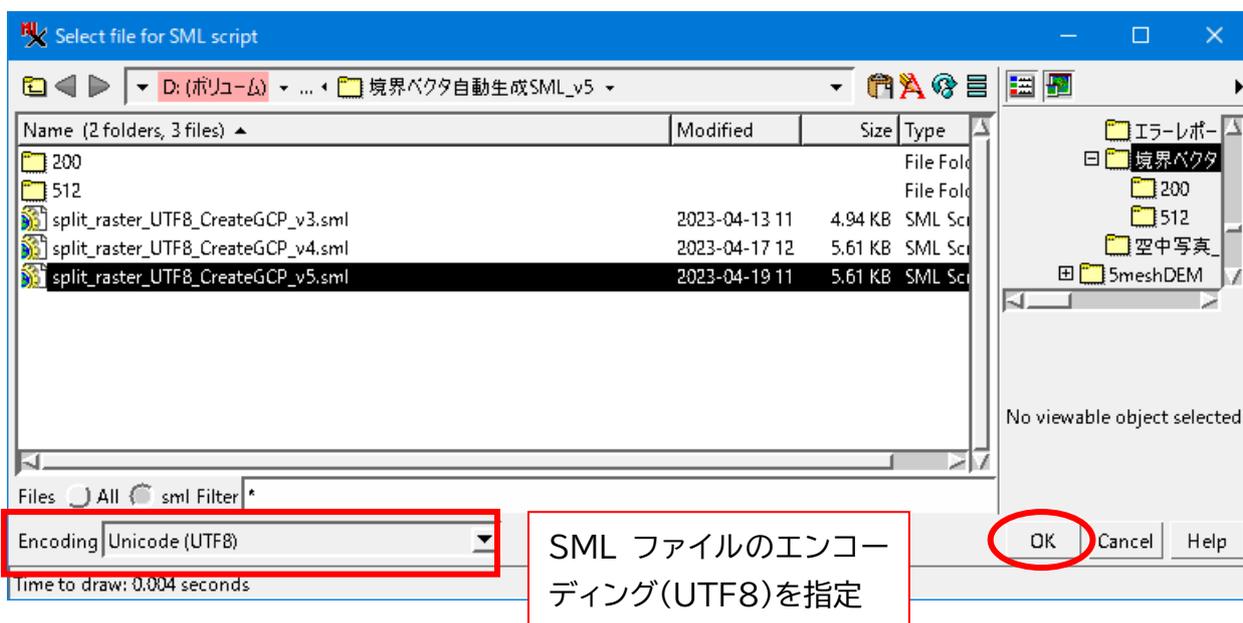
- 機能
1. 指定画素数の正方形に分割した画像を生成します。
  2. 分割画像サイズの枠のポリゴンベクタを生成します。

## 1. SML の実行手順

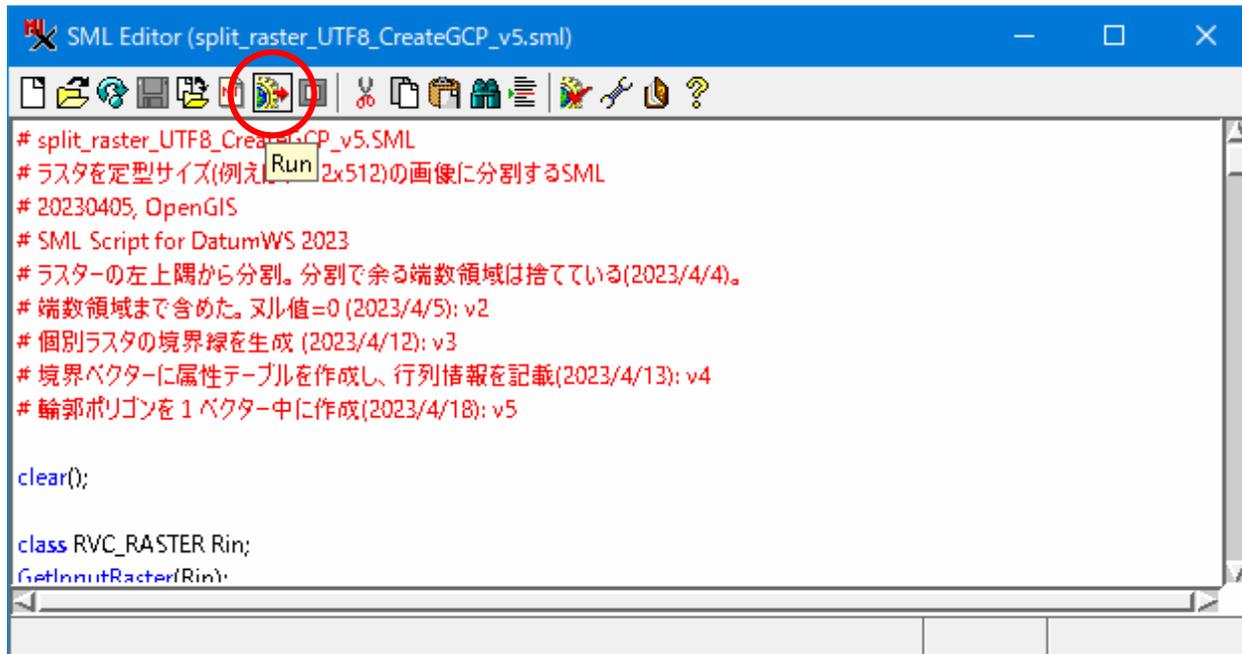
SML を Script/Edit Script で開きます。



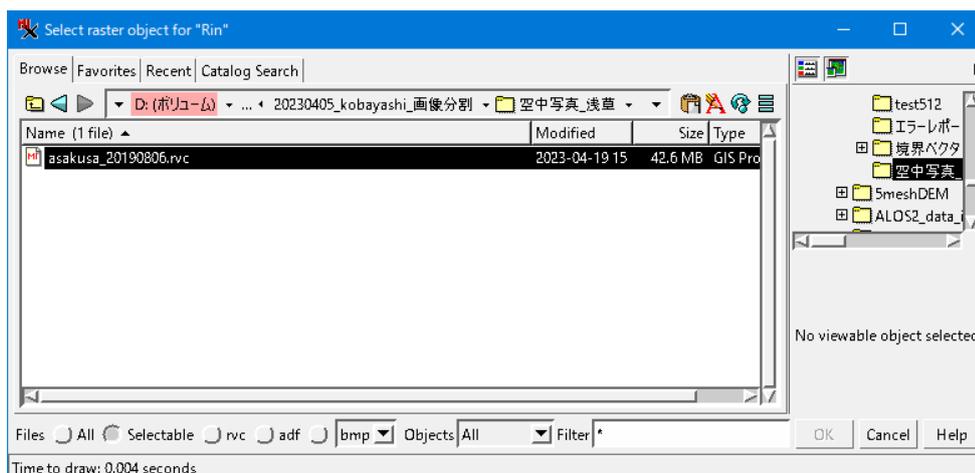
split\_raster\_UTF8\_CreateGCP\_v5.sml を開きます。



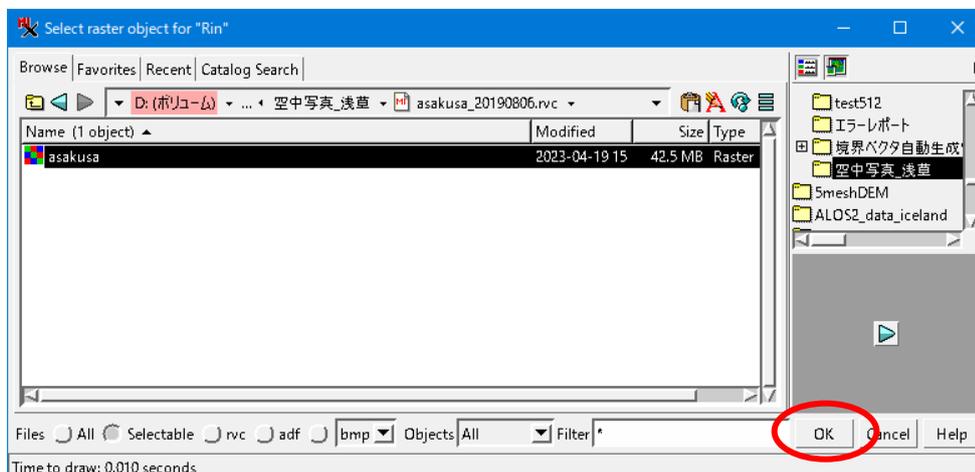
SML を実行します。



分割するラスタの入っている RVC ファイルをダブルクリックし

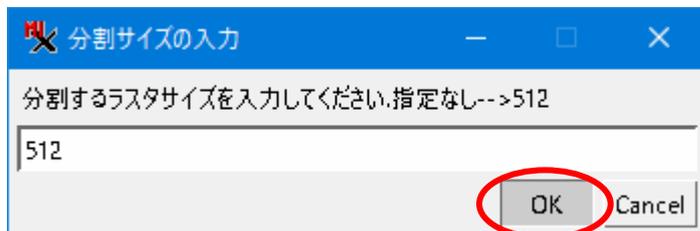


ラスタオブジェクトを選択します。

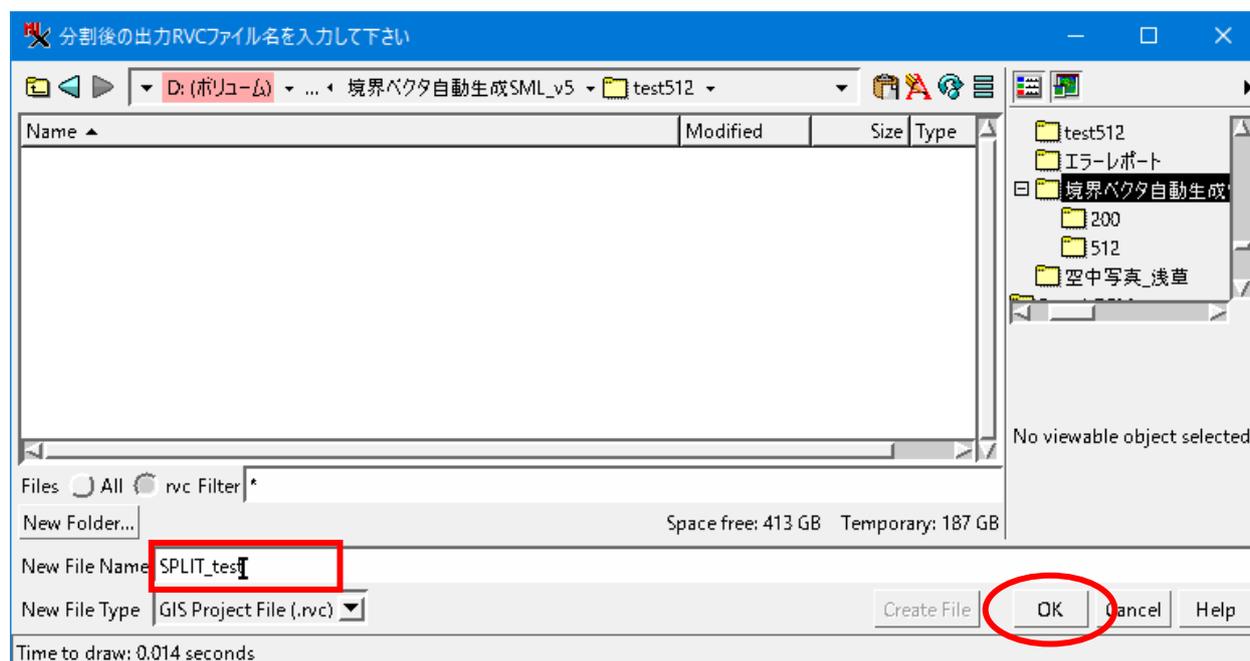


分割する正方形ラスタの1辺のピクセル数を指定します。

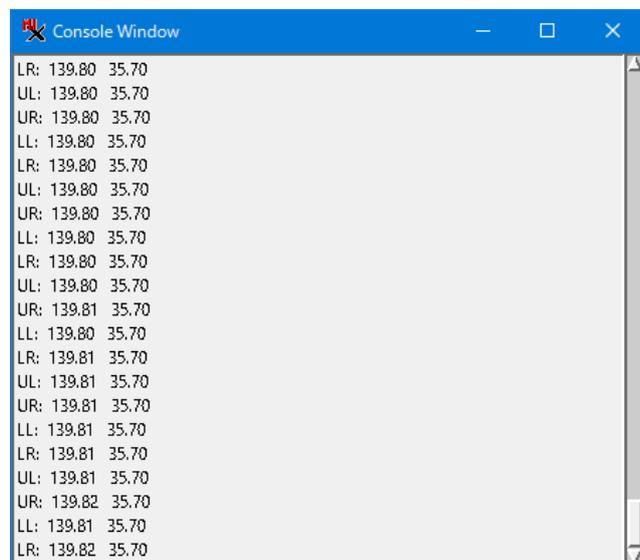
例では 512 x 512 pixel の画像で分割します。



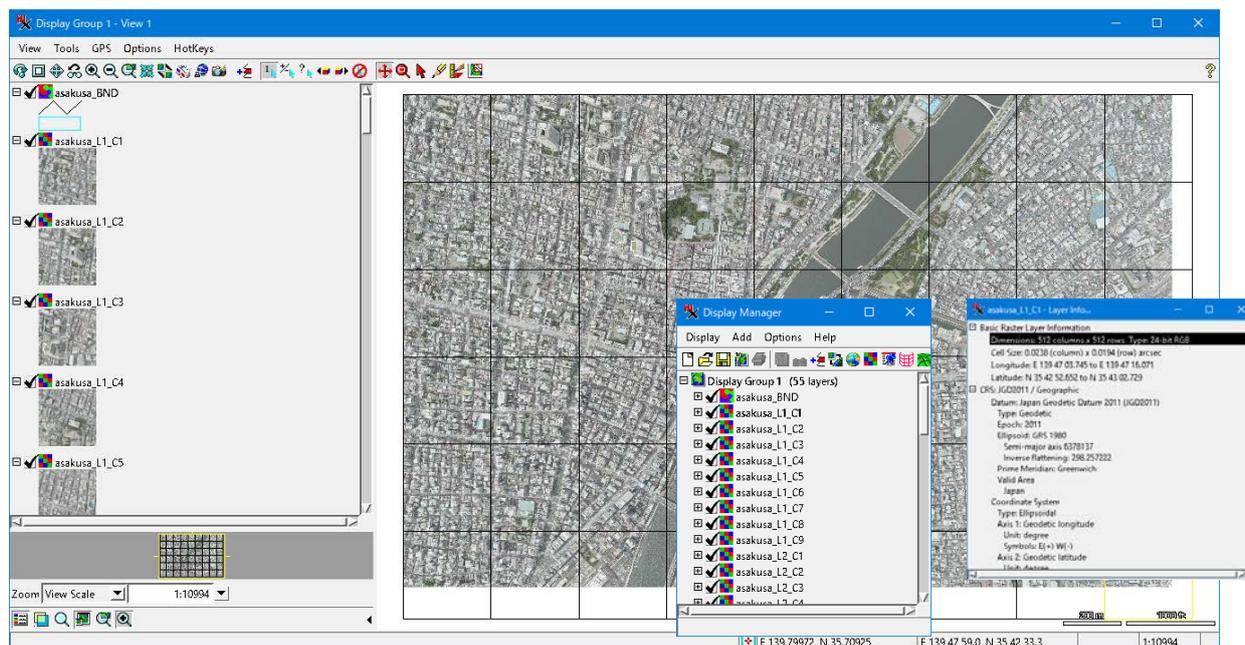
出力先の RVC ファイル名を入力します。



Console が停止すると終了です。SML エディタ画面を閉じます。

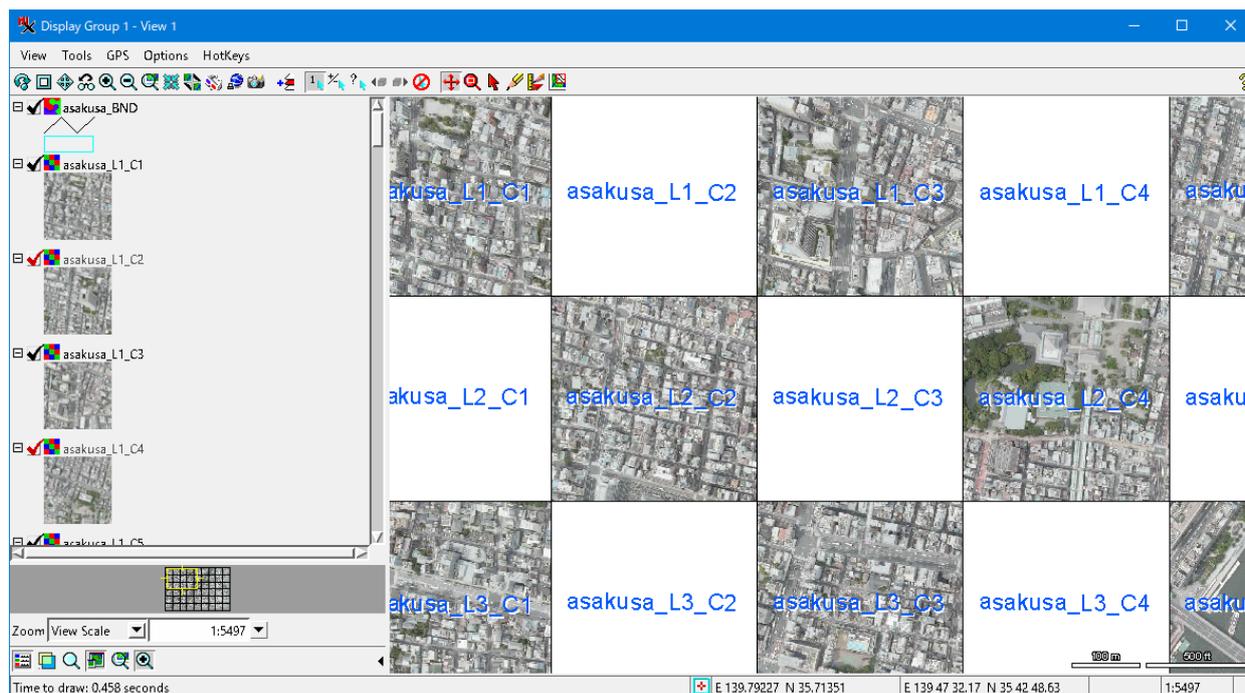


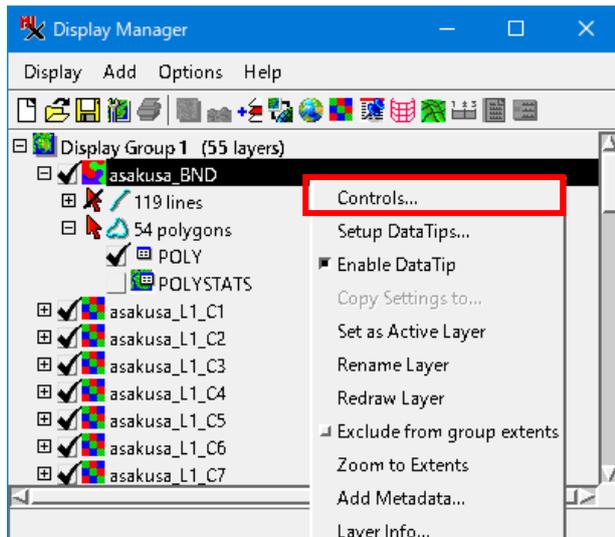
出力した RVC を表示して確認します。



分割した画像のオブジェクトと、画像範囲のポリゴンバクタのオブジェクトができています。  
分割画像は元のラスタオブジェクト名にラインとカラムの番号の付いたオブジェクト名となります。  
ポリゴンバクタの POLY テーブルに全分割ラスタオブジェクト名が入ります。

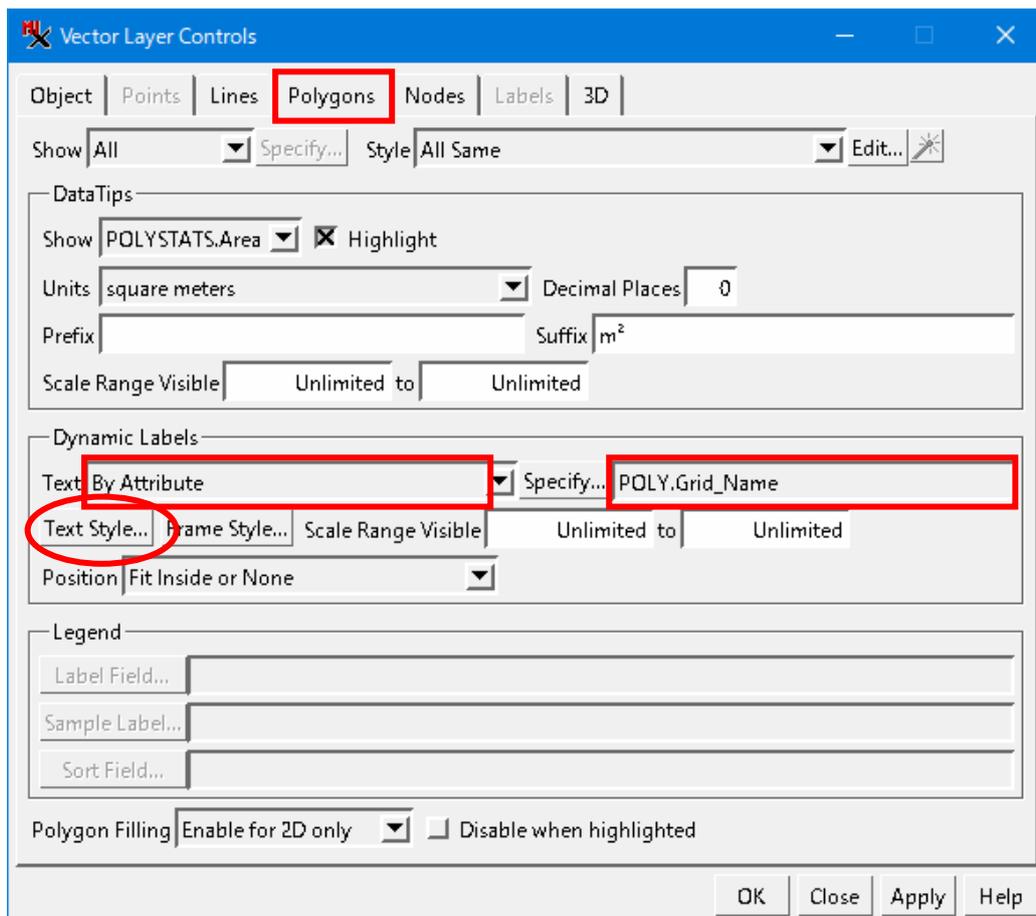
## 2. ポリゴンバクタに各画像オブジェクト名のダイナミックラベル表示をする方法



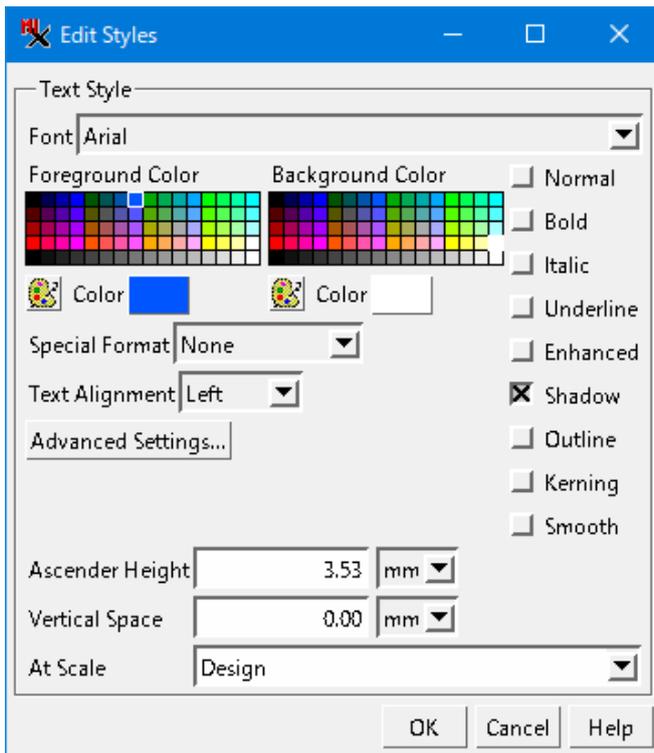


1 の出力ベクタの Controls でポリゴンのダイナミックラベルを設定します。

表示する属性フィールドを指定します。

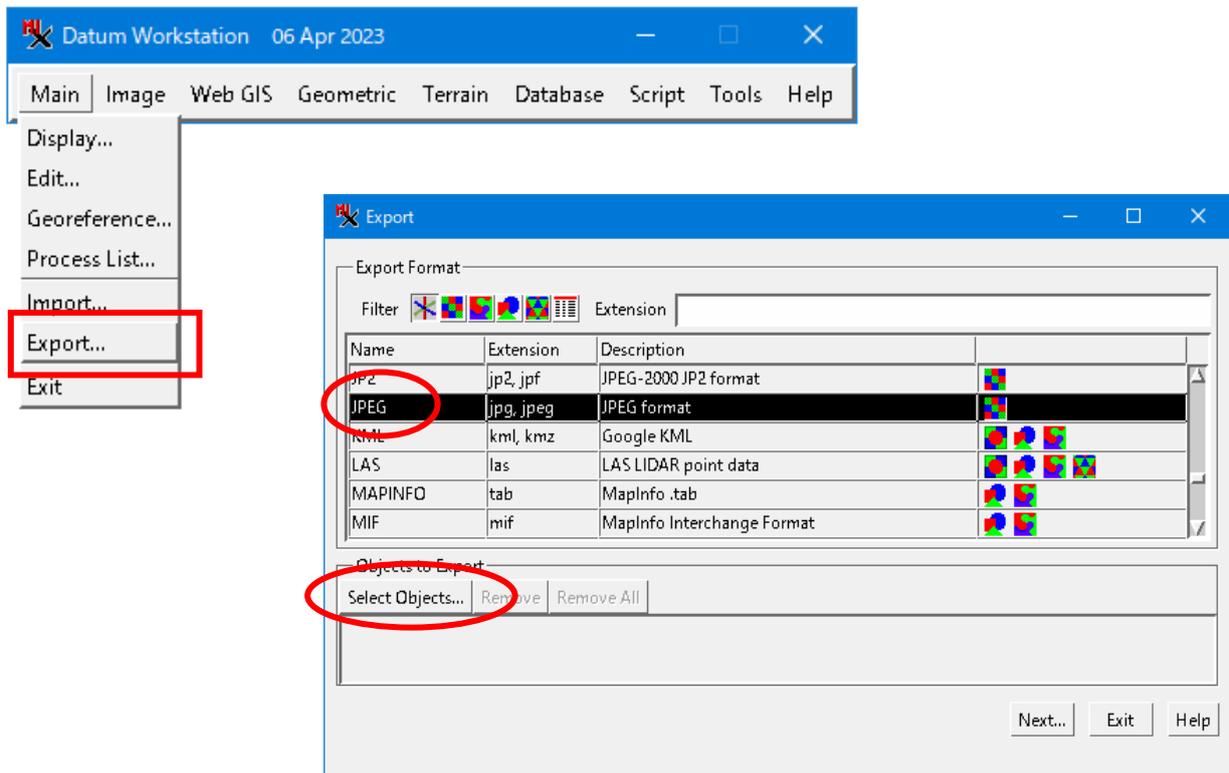


### テキストスタイル例

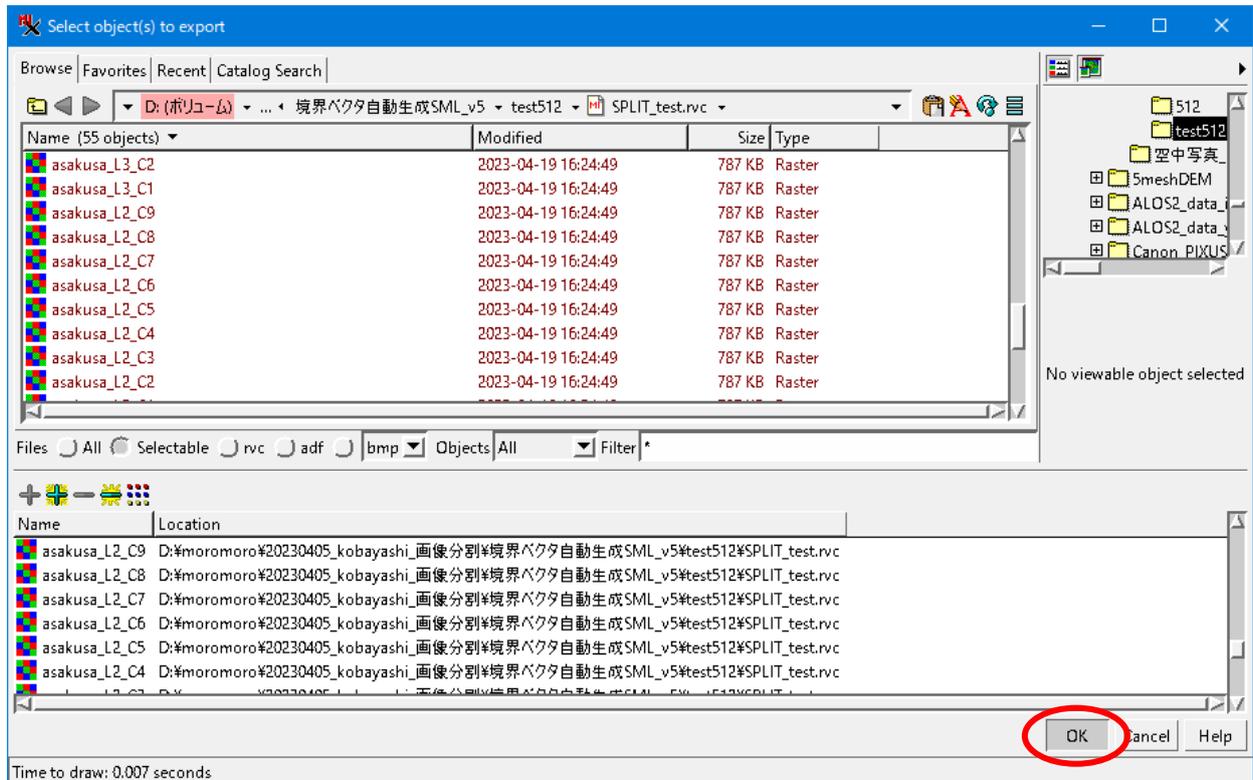
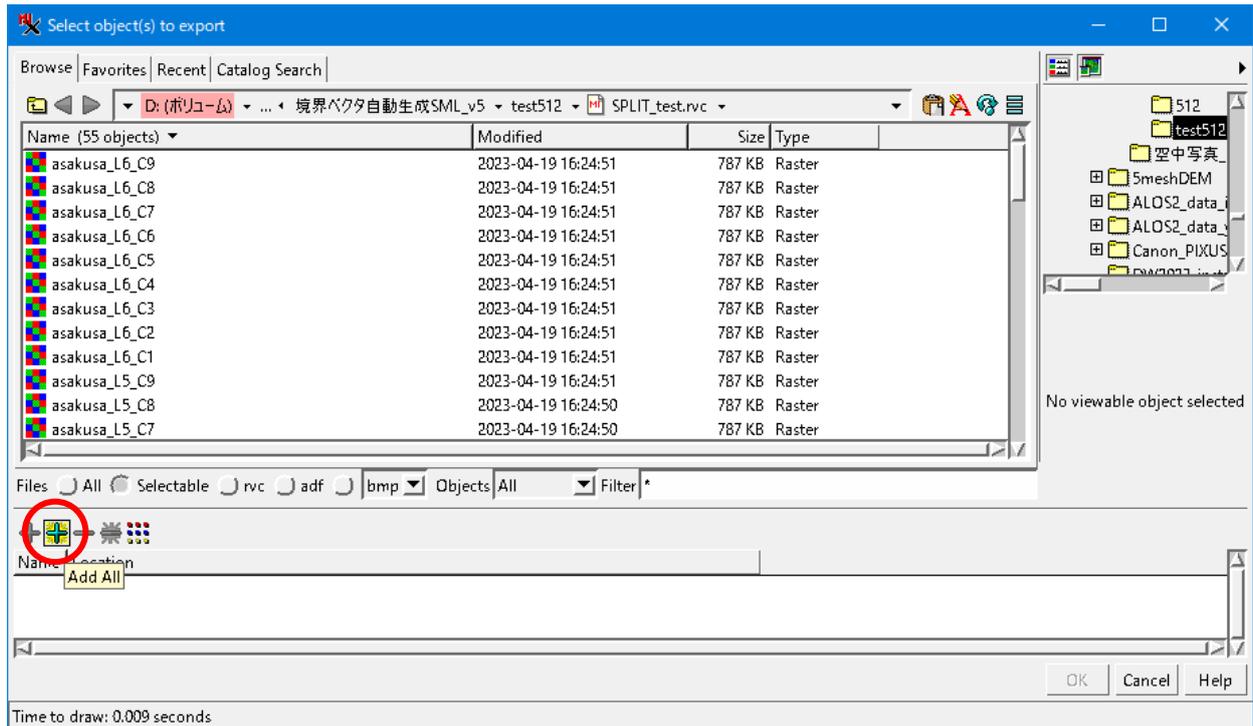


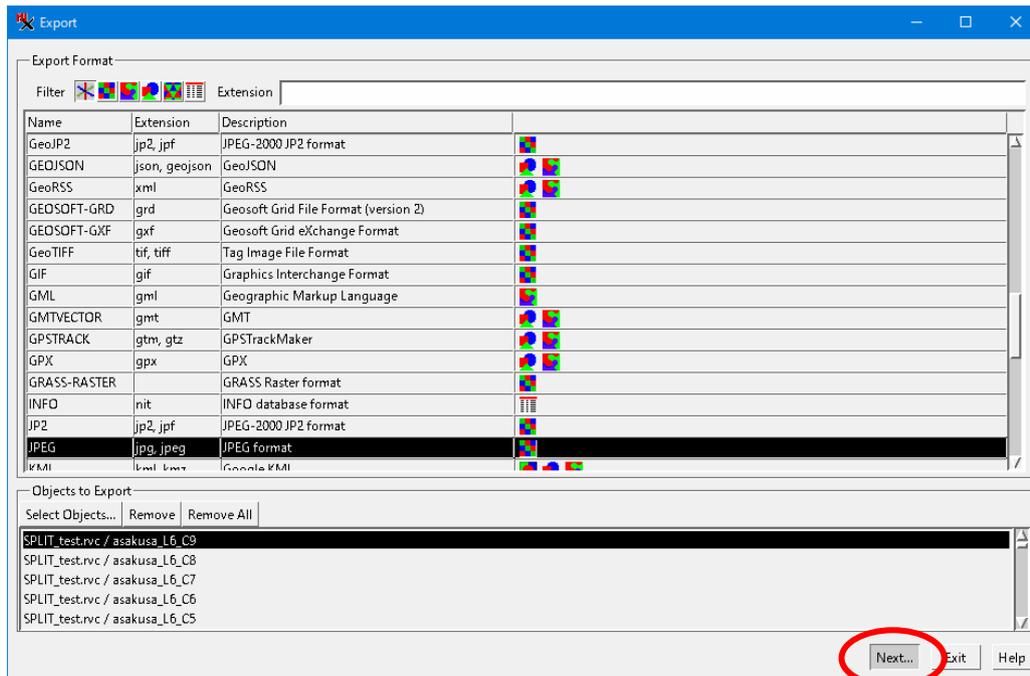
### 3. 分割したラスターオブジェクトを JPEG ファイルへ出力する方法

Main > Export で JPEG を指定、[Select Objects]で分割したラスター群を選択します。



1 で出力した RVC ファイルを選択し、[+]で分割したラスタオブジェクトを一括選択します。

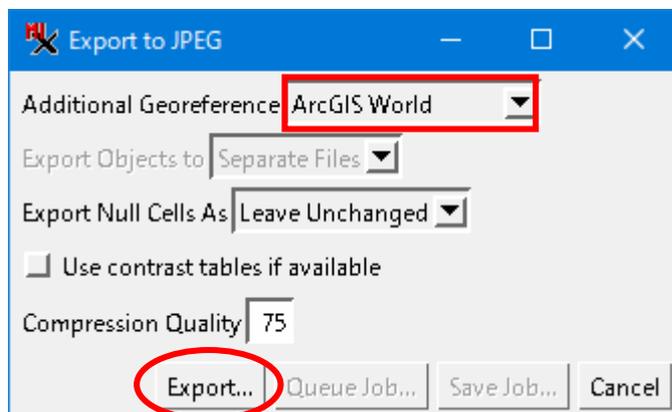


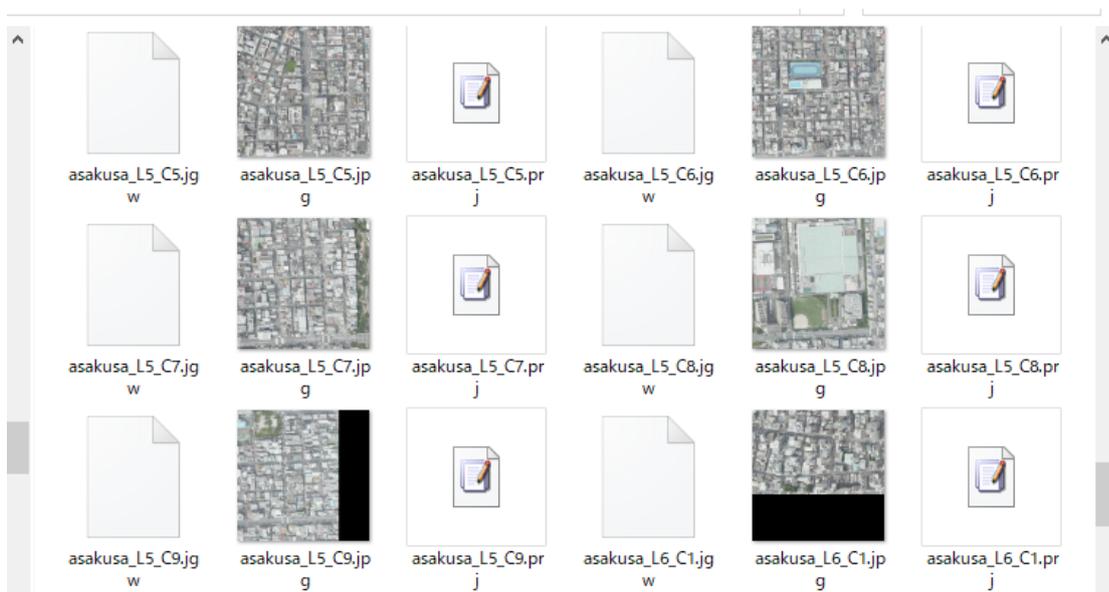
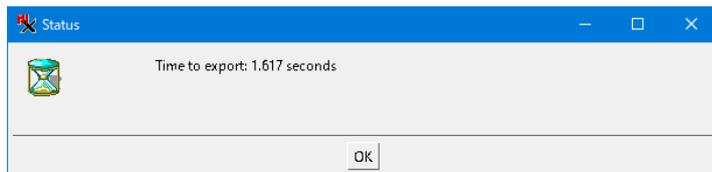
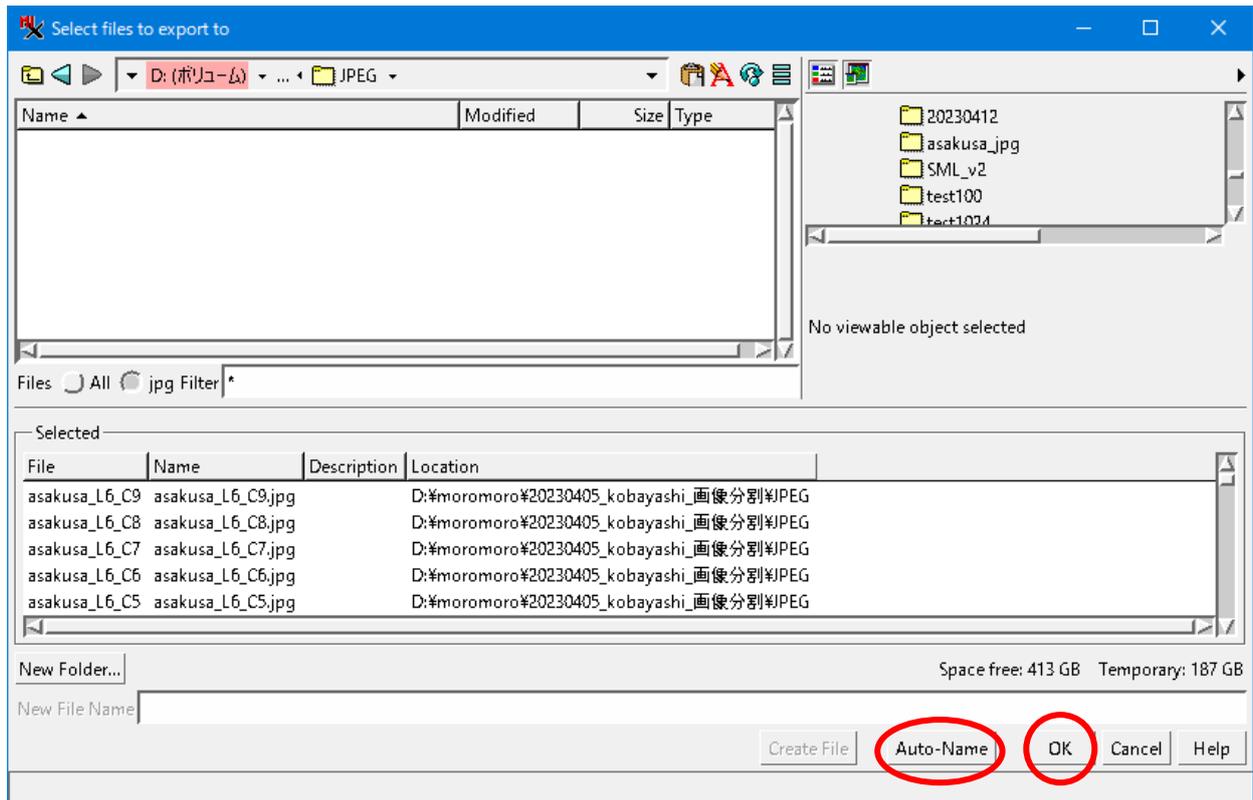


入力ファイルの指定が終わったので[Next]へ

必要があれば、Additional Georeferenceとして、”ArcGIS World”を選択。

→ Jpeg ファイルと共に World ファイルが生成されます





分割画像の JPEG ファイルと World ファイルが生成されます。

(画像出典:「国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス」よりダウンロード/ CKT20191)